

# 緊急集会「たばこ政策の重要課題—健康増進と価格政策」

2009年12月7日（月）13:00～14:30 都市センターホテル

特定非営利活動法人 日本医療政策機構では、たばこ税増税の議論が活発になってきたことを踏まえ、2009年12月7日、都市センターホテル(東京都千代田区)において、緊急集会「たばこ政策の重要課題—健康増進と価格政策」を開催いたしました。各界のキーパーソンが集結し、健康増進と価格政策両面の視点から、たばこ増税の意義を再認識し、たばこ政策推進に向けた機運が一層高まりました。また、本集会の様子はNHKニュース、共同通信47ニュース、共同通信映像ニュースほかで報道されました。



## 1. 日本のたばこ政策の展望

### 「禁煙推進のために市民の声を」

——小宮山洋子氏 衆議院議員・禁煙推進議員連盟幹事長

たばこ政策の展望はこれまで以上に明るい。たばこ規制枠組条約の批准、健康増進法25条の策定など、たばこ政策が大きくなうねりとなり実を結びつつある。残る大きな課題は価格政策、つまり値上げである。未成年者の喫煙防止の観点からもぜひ実現したい。禁煙推進議員連盟としても、この動きを一層加速させるべく、一本20円以上の値上げや、たばこ事業法の改正を盛り込んだ決議を行ったところだ。国民からの声は何よりも支援となる。禁煙推進に賛成する声を、より一層国民からもあげていただきたい。

## 2. 「脱たばこ社会」に向けて

### 「戦略的な新たな国民運動が必要」

——笹川陽平氏 日本財団会長

禁煙推進議員連盟の皆さんには重要な道筋をつけていただいた。一方で、2010年6月の参議院選挙までは、大幅値上げは難しいという声もある。重要なのは選挙後まで見据えた国民的な活動である。多くの国民を巻き込み、声なき声を紡ぎ出すためには、戦略的な新たな運動が必要だ。そのためには、禁止や増税という言葉ではなく、「たばこひと箱1,000円」といった、わかりやすい標語が求められる。政策を動かすのは国民の声である。ぜひ多くの声を集め、この運動を支援していきたい。



## 3. たばこ政策の国際的潮流と日本の課題

### 「健康政策も含んだ抜本的な改革を」

——望月友美子氏 国立がんセンターたばこ政策研究プロジェクトリーダー

現在新政権では、税収のみならず健康の視点からもたばこ政策が論じられている。この点は評価されている。健康被害や喫煙による生産性の低下などは、たばこ政策を語る上で外せない問題だ。現在毎年5%の割合で喫煙者は減少している。このような市場縮小のなか、たばこ価格を750円にあげた場合、喫煙者も減り、税収もたばこ会社の売上もあがるという試算もある。日本はこれまでたばこ政策を先送りしてきた。日本のたばこ税率は高いというが、購買力を考慮した「入手しやすさ」という指標で見れば先進国で最もたばこが買いやすい国だ。いままさに抜本的な改革が求められている。



## 4. たばこ増税—いまとるべきアクション

### 「国民のためのたばこ政策へ」

——作田学氏 日本禁煙学会理事長/杏林大学神経内科

民主党は政策インデックスのなかで、たばこ事業法の改正を謳っている。ぜひ実現していただき、たばこ産業のためのたばこ政策から、国民のためのたばこ政策に転換しなければならない。たばこ価格は、税収確保の面からのみ議論されがちであるが、たばこ規制枠組条約の主旨にある通り、健康増進の面からもたばこの価格改正が求められている。さらに、大幅増税後の使い道については、社会保障のみならず、葉たばこ農家やたばこ小売店の転業支援に充てることで、国民の多くが納得する価格改正になるだろう。



日本医療政策機構  
Health Policy Institute, Japan

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-28 7階

TEL 03-5511-8521 FAX 03-5511-8523

URL: [www.healthpolicy-institute.org](http://www.healthpolicy-institute.org)

E-mail: [info@healthpolicy-institute.org](mailto:info@healthpolicy-institute.org)

## 患者・市民からの声(会場から)

- 広島からこの集会に駆けつけた。ヘビースモーカーだった夫を2か月前に亡くした。「がんさえならなければ」と言っていた夫の言葉が胸に残る。ぜひたばこ価格改正を実現してほしい。
- がん患者として、患者支援にあたっている。肺がんの患者さんが、亡くなる直前まで喫煙を後悔していたことを思い出す。健康支援につながるたばこ政策の実現を目指していただきたい。
- この集会に来る道のりで、多くの若者が喫煙している姿を目にし、心が痛んだ。20年後、30年後の日本のために、若年層でもたばこが買えてしまう値段を改めてほしい。
- たばこ政策の推進に国民が注視しつつあると思う。3人に1人はがんになる時代にあって、特にがん患者からの注目は高い。たばこ政策に積極的かどうかを投票行動の基準にしていきたい。



## たばこ価格政策に対する提言(大会アピール)

当集会では、以下の提言(大会アピール)を小宮山洋子氏(衆議院議員・禁煙推進議員連盟幹事長)に提出いたしました。

- たばこを一箱1,000円とする。
- たばこ事業法を廃止し、健康増進目的の法律を新たに創設する。
- たばこ税をがん対策などの医療費、喫煙対策、農家転作支援やたばこ小売店の転業資金などに充当する。

本提言は、小宮山衆議院議員を通じて、古本伸一郎財務大臣政務官らに提出されました。



## ミッション

市民主体の医療政策を実現すべく、中立的なシンクタンクとして、幅広いステークホルダーを結集し、社会に政策の選択肢を提供すること

## 行動指針

**Independent**  
**Multi-stakeholder**  
**Agenda Shaping**  
**Global**  
**Pursuit of Excellence**

特定の政党、団体の立場にとらわれず、中立性を堅持する  
幅広いステークホルダーを結集し、フラットな議論の場を提供する  
市民にとって最も重要な課題を特定し、活発な議論を促す  
グローバルな視野を保ち、世界の医療政策分野のリーダーと協業する  
政策提言のみならず、あらゆる活動において最高水準の質を目指す



日本医療政策機構  
Health Policy Institute, Japan

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-28 7階

TEL 03-5511-8521 FAX 03-5511-8523

URL: [www.healthpolicy-institute.org](http://www.healthpolicy-institute.org)

E-mail: [info@healthpolicy-institute.org](mailto:info@healthpolicy-institute.org)